

# Political Report on Rehabilitation

08  
2023

繰り上げ当選して7ヶ月  
国会議員としての想いは

リハ小委員会とリハ議連の  
違いは何か / 初めて質疑  
に立った時の気持ち / 国  
會議員は1日何してるのか  
/ 他

参議院議員・理学療法士  
田中 昌史

## One Day Schedule



## My Profile

昭和40年10月11日 札幌市生まれ / 自由民主党 参議院 比例代表 / 理学療法士

### 役職

自由民主党東京都参議院比例区第三十六支部 支部長  
自由民主党組織運動本部 厚生関係団体委員会 副委員長  
自由民主党リハビリテーションに関する小委員会 事務局長代理  
リハビリテーションを考える議員連盟 事務局次長  
日本理学療法士協会 政策参与

### 所属

予算委員会 / 法務委員会  
消費者問題に関する特別委員会  
国民生活・経済及び地方に関する調査会  
リハビリテーションを考える議員連盟  
自由民主党介護福祉議員連盟  
地域の介護と福祉を考える参議院議員の会  
身体障害者補助犬を推進する議員の会  
医療・ヘルスケア産業の新時代を創る議員の会  
共生社会の実現に向けた認知症施策推進議員連盟  
在宅医療推進議員連盟  
患者と共に慢性腎臓病対策を推進する議員連盟  
自由民主党ワンヘルス推進議員連盟  
地域の居場所を通じて社会の未来を考える議員連盟  
2025年デフリンピック東京大会推進議員連盟  
カーボンリサイクル技術推進議員連盟  
責任ある積極財政を推進する議員連盟 等

## 田中昌史事務所

〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館505号室  
TEL.03-6550-0505 E-mail: info@tanaka-masashi.com

公式HP



公式FB



**Q1** 繰り上げ当選した時の気持ちと今後への想いは？

**最初に思ったことは やっと恩返しができる！でした**

私が参議院選挙に立候補したのは2019年でした。残念ながらその時は落選し、共に汗をかいてくれた仲間やご支援いただいた皆さまには本当に申し訳なく思っております。繰り上げ当選の連絡が届いた時、暑い日も寒い日も仲間とともに夢と希望をもって全国各地へ伺った日々や全国各地で応援していただいた方々の顔が思い出され、やっと恩返しできると思ったことを覚えています。今後については、皆様の想いと寄せる期待を忘れることなく、新人議員としての勉強をしっかりと重ねていくとともに、皆様に直接お目にかかり、国民・専門職お一人お一人のご意見・ご要望によく耳を傾け、その解決に向けて精一杯、汗をかいていきたいと考えています。



**Q2** 全国を訪問して思い出に残っていることは？

**とある通所リハ利用者様と交わした約束です。**

四国のある通所リハ施設に伺った際、利用者である女性の方から「私の先生はお給料が安いので、お願いだから給料上げてあげて。リハビリの仕事は私たち高齢者にとっても社会にとっても大切だし、こんなに安い給料で働く職業ではないと思うの。」との声をいただいたこと。この方との約束を果たさなければならぬとの思いは常に持ち続けています。

**Q3** 国会の中の委員会は何をするところ？

**国会で審議すべきかどうか検討する非常に重要な部署です**

本会議で全ての事項を審議・検討することは時間的にできませんので厚生労働や経済産業等分野別に提出すべきかどうか審議することが必要になります。それが委員会となります。一定時間を与野党と政府で議論し、ここで承認されることで本会議にかかりますので、委員会は非常に重要な部署になります。

**Q7** 議員活動で大切にしていることは？

**一言で言えば人間関係です**

国会議員になってすぐに、尊敬する先輩議員から「たくさん勉強して様々な政策を提案することもとても大事だが、人間関係はもっと大事だ」とアドバイスいただきました。その教えを常に頭に置いて、様々な部会や勉強会、議連に出席し、幅広い人間関係を構築しています。国会議員になって7ヶ月、お陰さまで、多くの国会議員に応援していただけるようになりました。

ちなみに、私は予算委員会と法務委員会に所属しています。今後、厚生労働委員会に所属できるよう関係各所に働きかけていきたいと思っております。



**Q4** 初めての質疑に立った時の気持ちは？

**直前までは少し緊張していましたが質疑中は特に緊張しませんでした**

3月17日に法務委員会で初めての質疑に立ちました。スケジュールが立て込んでいて準備にかける時間が限られていたため、委員会室に入室した段階では正直、少し緊張していました。しかし、質疑に立った時に仲間の議員から応援の拍手をいただきましたし、質疑中は国民に関わる法制度をより良くしたいとの思いでしたので特に緊張はしませんでした。自分でも少し驚いています。

**Q8** 制度・報酬改定に向けてどんな活動をしている？

**課題を理解してくれる方を増やす活動をしています**

リハビリテーションシヨンの社会的必要性は理解されていますが、解決すべき具体的な法制度の課題について、国会議員および省庁の方々にも広く理解いただくように活動しています。賛同者を増やし、今後は身分法の課題など党内での協議・決議・提言としていくことを考えています。このような活動や提言のとりまとめは、与党の組織代表議員が動かなければ前には進みませんので、しっかりと取り組んでまいります。

**Q5** リハ小委員会とリハ議連の違いは？

**いずれも自民党内にある組織ですが、まったく違う組織です**

リハ小委員会は予算委員会等の参議院常任委員会と違い、自民党の厚生労働部会の中に設置されており、自民党公式の組織です。リハ小委員会で議論されたことが厚生労働部会に上がり、部会で承認されると自民党政務調査会に上がり、政務調査会で承認されると自民党の政策として取り上げられるという流れになります。公式な組織なので正式かつ非常に重要な組織です。

リハ議連はリハに対して想いのある議員が集まってできた組織で、リハ小委員会とは違って自民党としての公式な組織ではありませんので、直に関係大臣に要望申し入れを行うなど、ある程度、自由が効く組織です。これらの組織に関係して下さっている国会議員をしっかりと支援していくことが自分達の将来に繋がります。5月8日に行われたリハ議連総会では国会議員77名、全国から179名のリハ専門職の方々にご参集いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

**Q6** 要望書提出の時に大臣に会ってどう思った？

**何度もお話している方々ですがやはり大臣室でお話した時は身が引き締まる思いがしました**

鈴木俊一財務大臣、加藤勝信厚生労働大臣、小倉将信少子化担当大臣に要望書を提出しました。これまでの活動で交流や意見交換をさせていただくことはありましたが、大臣室で要望内容の説明をする時は全国のリハ専門職の想いを背負ったことですので身が引き締まる思いがしました。

各大臣とも、今後の日本においてリハが重要であることをご認識いただいております。リハ議連の要望書提出の際、多くの国会議員にご臨席いただきましたが、これはリハ専門職の皆様が日頃から国民のために努力してくださっていることが認められた証拠ですし、期待の表れです。



**国会見学しませんか？**

国会議事堂や参議院議員会館など見学してみませんか？

もう夏休みも後半ですが、自由研究の題材として親子でお越しいただいても構いません。もちろん大人の社会科見学も大歓迎です。



田中昌史事務所にお気軽にお申し付けください。心よりお待ちしております。

